第4回 イベント処理入門

今回の演習の目的は次の通りである。

- 使用しているブラウザにおける「開発者ツール」の使い方
- 簡単なイベント処理を JavaScript で処理すること
- イベント処理関数をつける要素の位置の理解

今回からは課題に (**必須**) と書かれたものを最低行うこと。それ以外のかだいははいくつか選択してよい。

課題 1 (「開発者ツール」の使い方 (必須)) 演習のビデオ1 を見て次の問いに答えよ。

- 1. 使用しているブラウザと「開発者ツール」の開き方を記せ。
- 2. 「Elements」タブを開き、今までに作成した SVG ファイルに対して要素の属性を直接変える。
- 3. 「Console」タブを開き、コンソールへの入力位置を確認する。
- 4. コンソールで適当な算術式 (2+3など)を入力して結果が表示されることを確認する。
- 5. SVG ファイルを開き、

document.getElementsByTagName("polyline"); を実行し、その結果を報告する。polylineのところは該当する要素名に変えること

課題 2 (クリックイベントの処理) 演習のビデオ 2 を見て次の問いに答えよ。イベント処理関数の設定は window.onload 内で行うこと。

- 1. クリックされた円の塗りつぶし以外の属性を表示する。
- 2. (必須) 図形の種類をを変えて、クリックしたとき、複数の属性値を表示させる。文字列の表示はテンプレートリテラルの形式を用いること
- 3. (必須)alert の代わりに console.log を用いると開発者ツールの Console に表示される。 alert を使用した場合との違いを考察せよ。
- 4. 2 種類以上の図形を表示させ、その上でクリックしたときに要素名が表示されるようにプログラムしなさい。
- 5. (必須)正方形をいくつか置いてクリックすると移動するようにプログラムしなさい。
- 6. 正方形をいくつか置いてクリックすると色が変化するようにプログラムしなさい。

7. 異なる種類の要素を置いてクリックすると位置が変化するようにプログラムしなさい。

課題 3 (イベント処理をつける場所) 演習のビデオ 3 の前半部「クリックした位置に円を移動」を 見て次の問いに答えよ。

- 1. (必須) 画面全体を覆う長方形の属性 fill を none にしたら動作に変化があるか、その理由 も含めて答えよ。
- 2. (必須) 円に対してもイベント処理関数を登録してその上をクリックしたときに移動するようにせよ。
- 3. (必須) 円の上をクリックしたら色が変化するようにせよ。
- 4. 2つ以上の要素を置き、要素以外のところでクリックしたら最後にクリックした要素がクリックした位置に移動するようにせよ。初期値は適当に設定してよい。
- 5. (**必須)** 円の上をクリックすると円の色を表示 (3) のリストを実行し、動作することを確認すること。
- 6. 前問と同じリストに対し、 16 行目の g を取り除いて、svg 要素の属性 id を Canvas にする と正しく動くか確認する。
- 7. 「クリックした位置に円を移動」において、画面全体を覆う長方形なしで、円上も含めてクリックした位置を円の中心にするようにできるか検討せよ。

課題 4 (ドラッグ処理) 演習のビデオ 3 の後半部「マウスのドラッグを処理」を見て次の問いに答えよ。

- 1. (必須) ビデオ内の「マウスのドラッグを処理」を実行し、気になる点を記せ。
- 2. (**必須**) ビデオ内の「マウスのドラッグを処理 (改良版)」を実行し、前問の気になる点が修正 されているか述べよ。さらに、DOM ツリーが変化しているか確認せよ
- 3. (必須) 正方形をドラッグするようにしなさい。
- 4. 通常、Windows 上でアイコンなどをドラッグするときと、ここでのドラッグするときの相違点を述べ、それを改善せよ。
- 5. 円と正方形の図形に対し、1種類のイベント処理関数でする方法を考えよ。図形の種類が増えてもイベント処理関数に手を付けないようにするにはどのような方法があるか検討せよ。

情報メディア専門ユニット I(演習)

第4回(5/16)ノートの内容

今回から JavaScript によるプログラミングが始まる。細かい文法の説明を特にはしないので今までのプログラミング言語と比較して違いに気を付けること。 項目の最後の文字は次に示す項目の評価である。 \mathbf{y} (プログラム等のリスト)、説 (プログラム説明が手書きまたは印刷である)、図 (結果のキャプチャ画面)、考 (考察が手書きまたは印刷である) を意味し、次の記号で評価を示す。 \mathbf{x} (不備またはない)、 \mathbf{x} (もう一息)、 \mathbf{y} (良い)、 \mathbf{y} (大変良い)

項目	優れている	標準的	改良の余地あり
課題 1 (20%)	□使用中のブラウザと「開発 者ツール」の開き方 図 考	□使用中のブラウザと「開発 者ツール」の開き方の図ま たは考察がない 図 考	□使用中のブラウザと「開発 者ツール」の開き方の図と 考察がないか不十分 図 考
	□SVG ファイルに対して要素 の属性を直接変えた結果に 前後の図に開発者ツールの 「Elements」タブが表示 リ 説 図 考 □開発者ツールのコンソール	□SVG ファイルに対して要素の属性を直接変えた結果に前後の図に開発者ツールの「Elements」タブがない リ 説 図 考	□SVG ファイルに対して要素の属性を直接変えた結果 に前後の図のいずれかがないか開発者ツールの「Ele- ments」タブがなく不十分 リ説図考
	で直接、簡単な算術式や document .getElementsByTagName を実行 リ 説 図 考	ソールで簡単な算術式や document .getElementsByTagName を実行が一部ない リ 説 図 考	□開発者ツールのコン ソールで簡単な算術式や document .getElementsByTagName を実行がないリ説図考
課題 2 (30%)	□window.onload 内でイベント処理関数を登録し、クリック時に円の塗りつぶし以外の属性を表示している。 リ 説 図 考	□window.onload 内でイベント処理関数を登録していない。クリック時に円の塗りつぶし以外の属性を表示している。 リ 説 図 考	□window.onload 内でイベント処理関数を登録していない。クリック時に円の塗りつぶし以外の属性を表示していない。 リ 説 図 考
	□(必須) 図形の種類を変えている。クリック時に複数の属性値をテンプレートリテラルを用いて表示している。 リ 説 図 考	□(必須) 図形の種類を変えて、クリック時の複数に属性値をテンプレートリテラルを一部しか用いないで表示している。 リ 説 図 考	□(必須) 図形の種類を変えていない。クリック時に複数の属性値をテンプレートリテラルを用いて表示していない。 リ 説 図 考
	□(必須)console.log を用いた実行結果があり、alertを使用した場合との違いがある。 図 考	□(必須)console.logを用いた実行結果があり、alertを使用した場合との違いの考察が不十分 図 考	□(必須)console.logを用いた実行結果がない。alertを使用した場合との違いの考察がない。図 考
	□(必須) 正方形をいくつか置 いてクリックすると移動す る。 リ 説 図 考	□(必須) 単独の正方形を置い てクリックすると移動する。 リ 説 図 考	□(必須) 単独の正方形しかない。クリック時に移動動作がおかしい。 リ 説 図 考
	□正方形をいくつか置いてクリックすると色が変化する。 リ 説 図 考	□単独の正方形しか置いていないが、クリック前後の色の変化の図があり、色が変化している。 リ 説 図 考	□単独の正方形しか置いていなく、クリック前後の色の変化の図がないか不十分 リ説 図 考
	□異なる種類の要素があり、 それらの図形のクリックす る前後の位置が変化を示す 前後の図が十分ある。 リ 説 図 考	□異なる種類の要素に対して クリックする前後の位置が 変化を示す図前後の図が少 し足りない。 リ 説 図 考	□異なる種類の要素がない。 クリックする前後の位置が 変化を示す図が少なすぎる かなく、図形も移動してい ない。 リ 説 図 考 次のページに続きがあります

次のページに続きがあります

評価	優れている	標準的	改良の余地あり
項目		147-L H 7	S/12/17/11/11/19/
課題 3 (25%)	□(必須) 画面全体を覆う長方 形の属性 fill を none にし た報告があり、考察が正し い。 説 考	□(必須) 画面全体を覆う長方 形の属性 fill を none にし た報告があるが、考察が一 部正しくない。 説 考	□(必須) 画面全体を覆う長方 形の属性 fill を none にし た報告がないか、考察が正 しくない。 説 考
	□(必須) 円にイベント処理関数を登録して円の上をクリックしたときも移動する図が十分にある。 リ説図考	□(必須)円にイベント処理関数を登録して円の上をクリックしたときも移動する図が少し足りない。 リ説図	□(必須) 円にイベント処理関数を登録して円の上をクリックしたときも移動する図がないか、非常に足りない。 リ 説 図 考
	色が変わる。説明、考察も十分である。 リ 説 図 考 □要素上以外でクリックしたら最後にクリックした要素がクリックした位置に移動することを示す図がある。途中の動作を示すために	□要素上以外でクリックした素動なのリックしたを表がクリックした位置に足りない。 リッカー で、 で、 の で、 の の の の の の の の の の の の の の	□要素上以外でクリックした ら最後にクリックした要素 がクリックした位置に移動 することを示す図がないか 非常に足りない。途中の動 作を確認する手段がない。 リ 説 図 考
	console.log を用いている。 リ 説 図 考 □(必須) 円の上をクリックすると「円の色を表示(3)」の動作確認が分かる図が十分にある。 リ 説 図 考		□(必須) 円の上をクリックすると「円の色を表示(3)」の動作確認が分かる図がないか非常に足りない。 リ 説図 考
	□svg 要素にイベント処理を 付けたときの動作の確認が 十分にある。 リ 説 図 考		□svg 要素にイベント処理を 付けたときの動作の確認が 足りない。 リ 説 図 考 □画面全体を覆う長方形なし
	□画面全体を覆う長方形なしで、円上も含めてクリックした位置を円の中心に移動する。 リ 説 図 考	した位置を円の中心に移動 することが不十分である。 リ 説 図 考	で、円上も含めてクリック した位置を円の中心に移動 しない。 リ 説 図 考
課題 4 (25%)	□(必須) ビデオ内の「マウス のドラッグを処理」の動作 の気になる点の指摘が正し い。 図 考	□(必須) ビデオ内の「マウス のドラッグを処理」の動作 の気になる点の指摘が少し 足りない。 図 考	□(必須) ビデオ内の「マウス のドラッグを処理」の動作 の気になる点の指摘が足り ない。 図 考
	□(必須) ビデオ内の「マウス のドラッグを処理(改良版)」 で前問の気になる点が修正 の確認と DOM ツリーの変 化の確認が十分になされて いる。 リ 説 図 考	□(必須) ビデオ内の「マウス のドラッグを処理(改良版)」 で前問の気になる点が修正 の確認と DOM ツリーの変 化の確認が十分にできてい ない。 リ 説 図 考	□(必須) ビデオ内の「マウス のドラッグを処理(改良版)」 で前問の気になる点が修正 の確認と DOM ツリーの変 化の確認ができていない。 リ 説 図 考
	□(必須) 正方形のドラッグの 動作が十分である。	□(必須) 正方形のドラッグの 動作がすこしおかしい。	□(必須) 正方形のドラッグの 動作がすこしおかしい。
	□通常のアイコンのドラッグ との相違点と改善が十分に ある。 リ 説 図 考	□通常のアイコンのドラッグ との相違点と改善が不十分 である。 リ 説 図 考	□通常のアイコンのドラッグ との相違点と改善が不十分 である。 リ 説 図 考
	□図形の種類が増えている。 イベント処理関数の処理が 図形の種類が増加しても手 を付けないようになってい る。 リ 説 図 考	□図形の種類が増えていない。 イベント処理関数の処理が 図形の種類が増加しても手 を付ける必要がある。 リ 説 図 考	□図形の種類が増えていない。 イベント処理関数の処理が 図形の種類が増加すると改 良のために手間をかける必 要がある。 リ 説 図 考

情報メディア専門ユニット I(演習) 第4回(5/16) プレゼンテーション

この回の予習に基づいてグループ内で議論したことや工夫した点について報告する。

グループメンバー学籍番号

- death force			
評価 項目	優れている	標準的	改良の余地あり
発表 技法 (20%)	□はっきりと丁寧に説明していた。 □発表の際に聴衆の反応を確かめていた。 □間の取り方がよかった。 □決められた時間に近い範囲で行った。 □機材の設定や準備がすぐできていた。	□説明が途切れることが 2,3 か所あった。 □声が少し大きすぎたり小さすぎた。 □発表の際に聴衆の方をあまり見ていないか反応を確かめていなかった。 □決められた発表時間を少し外れた。 □機材の設定や準備に少し時間がかかった。	□声が小さすぎて聞き取れなかった。 □聴衆のほうを全く見ない、反応を無視して行った。 □間がない発表であった。 □発表時間が極端に短い、または長すぎた。 □手元の資料や PC 画面を見て発表していた。 □機材の取り扱いや発表の準備がほとんどできていなかった。
発表 構成 (30%)	□初めに発表内容に関する概要があった。 □発表内容の順序に必然性があった □各構成の部分のバランスが良かった。 □図や表を使い簡潔にまとめられていた。 □引用は適切である。	□文字だけの発表で、概略が 少しつかみづらかった。 □図の内容が少し見づらかった。 □項目の内容の分量にばらつ きが少しあった。 □スライドごとに情報の詳し さが一部異なりすぎていた。 □ページの分量が発表時間に 対して少し足りない、また は多すぎた。	□ほとんどのスライドで情報 量が少なかった。 □一つのスライドに文字を詰 めすぎていた。 □図が大きすぎたまたは小さ すぎた。 □スライドごとに情報の詳し さが異なりすぎていた。 □スライドの内容が情報ごと にまとまっていなかった。
発表 内容 (50%)	□内容は適切であった。 □図の使い方がよかった。 □SVGファイルのデモが適切であった。 □内容が自分の言葉で述べられていた。 □それぞれの項目の関連性とバランスがよかった。 □発表したいことが十分に説明されていた。 □自分の意見が明確であった。	□内容のごく一部に説明不足なところがあった。 □図が少なくて説明が少しわかりずらかった。 □SVGファイルのデモの内容が少し足りなかった。 □内容に関して他からの引用が少し多かった。 □それぞれの項目の関連性に少し不十分なところがあった。 □発表内容の必要性の説明が少し足りなかった。	□内容が少なすぎる。 □図を使用していないのでわかりずらい。 □SVGファイルのデモの全くなかったか足りなかった。 □スライドの記述と発言内容に差がありすぎる。 □内容が多すぎて散漫である。 □内容が引用ばかりで自分でまとめた形跡がなかった。 □内容の説明が不十分であった。